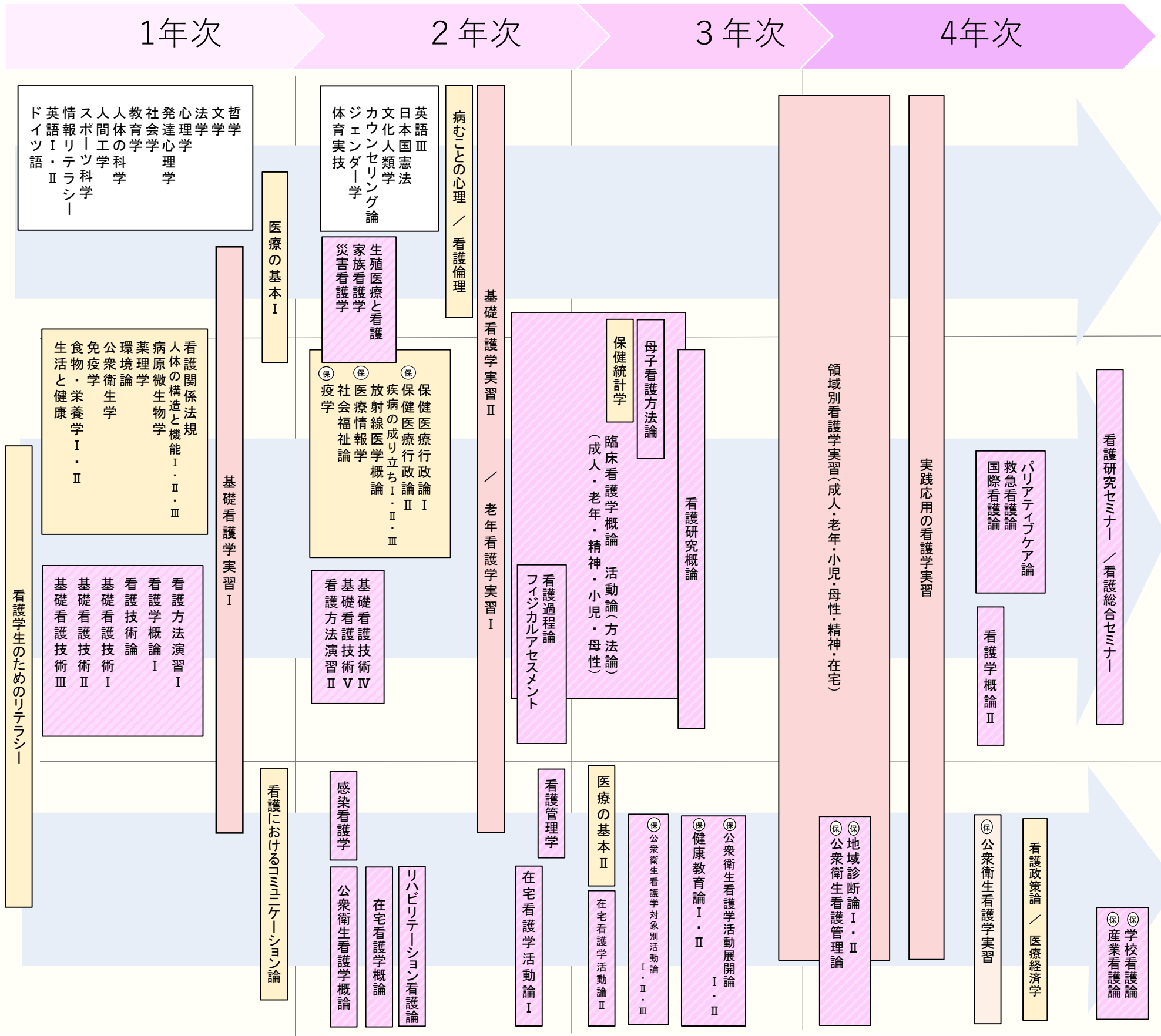


科目区分	生活している人間の理解	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得
	看護の対象としての人間の理解	看護学実習
(保) 保健師課程のみ 必修科目		



ディプロマ・ポリシー	
看護学科	保健医療学部
<p>幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。</p> <p>医療における看護の倫理的側面を理解し行動できる。</p> <p>全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、病める人の視点で考え、人を思いやる態度をもち、個別性を重視した看護を行うことができる。</p>	<p>人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。</p>
<p>医療人に必要とされる基礎医学および臨床医学の基本的知識を身につける。</p> <p>多様な保健・医療・福祉の場で活用できる基本的な看護の知識と技術を身につける。</p> <p>看護の専門的知識を活用し、科学的根拠に基づいて、身体的、心理的、社会的側面から適切な判断を行うことができる。</p> <p>看護の実践の中から看護研究の課題を発見し、それを発展させることができる。</p> <p>常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。</p>	<p>保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。</p>
<p>チーム医療の中で調整・連携の役割を果たすための適切なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。</p> <p>保健・医療・福祉チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。</p>	<p>協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につねに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。</p>

【令和8年度 看護学科4年次 時間割表】

*：選択科目

●：[看護師]選択科目、[保健師]必修科目

<前期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30		医療経済学* (小野寺)			地域診断論Ⅱ● (山路)	
2 10:40 ~ 12:10	国際看護論 (樋口)	医療経済学* (小野寺)	地域診断論Ⅰ● (山路)	公衆衛生看護管理論● (櫻井)	地域診断論Ⅱ● (山路)	
3 13:10 ~ 14:40	国際看護論 (樋口)		国際看護論 (樋口)	看護総合セミナー (関根)		
4 14:50 ~ 16:20	国際看護論 (樋口)	看護研究セミナー (千田)	国際看護論 (樋口)	看護研究セミナー (千田)		
5 16:30 ~ 18:00			国際看護論 (樋口)			

- ・成人看護学実習Ⅲ(櫻庭) ・在宅看護学実習(千田) ・実践応用の看護学実習(千田)
 ・公衆衛生看護学実習●(山路)・・・1日保健所実習

<後期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ~ 10:30	救急看護論* (井上)	看護学概論Ⅱ (横山)		看護政策論 (浅井)		
2 10:40 ~ 12:10	救急看護論* (井上)	看護学概論Ⅱ (横山)	パリアティブケア論* (櫻庭)	看護政策論 (浅井)	看護総合セミナー (関根)	
3 13:10 ~ 14:40	産業看護論● (市原)	看護研究セミナー (千田)		学校看護論● (鎌田)		
4 14:50 ~ 16:20	産業看護論● (市原)	看護研究セミナー (千田)		学校看護論● (鎌田)		
5 16:30 ~ 18:00						

- ・公衆衛生看護学実習●(山路)

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

令和8年度学事予定

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
											1	1		1	1	1	1	2	2		2	2	2	2	3	3		3	3		3
	春季休暇 (4/1~5)					入学式		新入生オリエンテーション			前期授業開始 ①		②						③						④			昭和の日	④		
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	4	4					4	5	5		4	4	3	5	6	6		5	5	4	6	7	7		6	6	5	7	8	8	
	④	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日		⑤				⑥						⑦						⑧								
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
	7	7	6	8	9	9		8	8	7	9	10	10		9	9	8	10	11	11		10	10	9	11	12	12		11	11	
	⑨						⑩						⑪						⑫						⑬						
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	10	12	13	13		12	12	11	13	14	14		13	13	12	14	15	15			14	13	15	16	16		14	15	14	16	17
	⑬						⑭						⑮						海の日	⑯						⑰					前期授業終了
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	夏季休暇 (8/1~31)										山の日	夏季休暇 (8/1~31)															修士課程入試 入試設営	第1回入試			
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
																												1	1	1	
	前期定期試験						前期定期試験					定期前期試験	追・再試験						敬老の日	国民の休日	秋分の日	追・再試験	編入学/総合型選抜Ⅰ 入試設営	後期授業開始	①						

1年生行事日程等	2年生行事日程等
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション:4月7日(火)~4月9日(木) ・前期授業開始:4月10日(金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション:4月2日(木) ・前期授業開始:4月7日(火) ・老年看護学実習Ⅰ:7月21日(火)~7月31日(金)
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション: ・後期授業開始:9月28日(月) ・基礎看護学実習Ⅰ:2月20日(土)~2月26日(金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション: ・後期授業開始:10月13日(火) ・基礎看護学実習Ⅱ:9月28日(月)~10月9日(金)

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
	1	1	1		2	2	2	2	2/				3	3	3	3/2	2		3	4	4	4	4/3			4	5	5	5	5/4	3		
	①		領域別実習要件 認定式		②				越華祭準備	越華祭	スポーツの日		③							④				解剖体慰霊祭			⑤			入試設営	総合型選抜試験Ⅱ		
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
		5		6	6	6/5	4		6	6	7	7	7/6	5		7	7	8	8	8/7	6		入試設営	学校推薦型試験	⑧	⑨			⑩				
	⑥	文化の日		⑥						⑦													入試設営	勤労感謝の日									
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
	9	10	10	10/9	8		9	10	11	11	11/10	9		10	11	12	12	12/11	10		11	12	13	13	13/12								
			⑩							⑪																							
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
				12	13	14	14	14/13					14	15	15	15/14	11		13	15	16	16	16/15	12		14							
			冬季休暇 (12/26~1/3)		⑭			入試設営	修士課程 第2回 入試	成人の日																							
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
	一般選抜	補習・自習			後期 定期試験			後期 定期試験		建国記念の日		後期 定期試験			後期 定期試験				追・再試験				追・再試験	天皇誕生日									
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		

※入学試験予定日は、大学構内への立ち入りおよび講義室・セミナー室使用を制限します。

3年生行事日程等	4年生行事日程等
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション:4月2日(木) ・前期授業開始:4月10日(金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション:4月3日(金) ・前期授業開始:4月7日(火) ・領域別看護学実習:5月11日(月)~7月17日(金)
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション: ・領域別実習要件認定式:10月3日(土) ・領域別看護学実習:10月5日(月)~1月22日(金) 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション: ・後期授業開始:11月16日(月) ・実践応用の看護学実習:8月24日(月)~11月13日(金) ・公衆衛生看護学実習:9月28日(月)~10月30日(金)

学習を効果的に進めるために

1. カリキュラム curriculum とは、シラバス syllabus とは

カリキュラムという言葉はよく耳にしますが、カリキュラムとは本当はどういう意味か、あなたは知っていますか。

カリキュラムは時間割でも、科目一覧表でもありません。カリキュラムは、あなたがどのような目標を持って、どんな方法でその目標に到達することを目指し、どこまで目標に到達できたかをどうやって評価するか、それが明示されている教育（学習）活動の計画書です。

このように、カリキュラムには、目標、方略（学習の方法や必要な資源）、評価の3つの要素が記載されています。あなたはカリキュラムを理解することで、何を目標に、どのような方法で学習し、いつ、どのように評価を受ければいいかが分かり、それに向かって学習の体勢を整えることができます。

なお、埼玉医科大学には大学としての目標が、保健医療学部には学部としての目標が、そして各学科には学科としての目標があります。さらに、学科ごとに、1年次から4年次までのそれぞれの学年での目標もあります。これらについては、学生便覧のⅠ埼玉医科大学の概要、1. 埼玉医科大学の教育理念および沿革、Ⅲ教育に関する規定、1. 保健医療学部の教育の基本的理念、2. 各学科における人材養成の目標と卒業後の進路、教育課程編成の考え方および特色の項に記載されていますので、よく読んでおいてください。また、3. 卒業要件および授業科目の項では、卒業して資格を得るために、どのような科目を履修しなければならないか、これらの科目が4年間でどのように配置されているかを知ることができ、5. 単位の認定および6. 試験に関する規則、総括的評価基準、評価方法の項では、評価についての総合的な枠組みが理解できます。

さて、学生便覧にはこのように大枠としてのカリキュラムが示されていますが、あなた方の大きな関心事は個々の科目に関する情報でしょう。各学科の各学年次について、個々の科目のカリキュラムを明示したものが、この冊子（シラバス）です。

2. シラバスの構成と利用法

シラバスには、科目名、授業方法（講義、演習、実験、実習の別）、その科目の単位数および時間数、必修・選択の別、担当教員、科目の目標、学習の具体的な目標、授業計画の一覧、評価方法、教科書・参考書、連絡先（あるいはオフィスアワー）、履修上の注意や履修要件が記載され、次ページ以降には個々の授業の担当者や内容が記載されています。

科目の目標には、その科目を履修した時点で学生がどのような状態になるのか（outcome）や科目のねらいが示され、さらに学習の具体的な目標として、そのような状態になるためには何ができるようになったらいいかが具体的に示されています。評価方法の項には、評価の

時期や具体的な方法が記載されています。質問や相談などで教員と面談をしたり、連絡を取りたい場合には、連絡先に記載されている電話番号またはメールアドレスを用いてください。

また、オフィスアワー（面談可能な曜日と時間帯を指定）が示されていれば、その指示にしたがい教員を訪ねてください。

授業内容の項では、個々の授業における具体的な目標（授業の成果として何ができるようになるか）が示されています。これらの目標に到達できたかどうかは定期試験などで評価されるわけですから、最低限度、試験までにはこれらの目標に到達できるよう努力してください。

3. 単位制度について

大学設置基準では、1単位とは授業時間外での学習（予習や復習）を含めて45時間の学習を要するものと定められています。本学では原則として講義15コマ（30時間）を2単位、演習15コマ（30時間）を1単位としていますから、講義では15コマで90時間の学習が必要となり、60時間（1コマあたり4時間）の予習・復習が求められます。同じ計算で、演習では1コマあたり1時間の予習・復習が必要です。

放課後や休日を利用して、必要な予習・復習時間を確保するように努めてください。

4. 効果的な学習のために

1) シラバスの活用

シラバスを活用し、予習と復習を怠らないようにするのが理想的です。

2) 分からないことは その日のうちに

その日の授業科目について、理解できなかった部分がないかどうかを毎晩チェックし、理解できなかった部分があれば、その日のうちに教科書・参考書で確認してください。

3) 質問をおそれずに

調べてもなお疑問が解消できなかった場合は、翌日、友人に尋ねることを薦めます。どうしても解決ができない場合には、次の授業時間に担当教員に質問してください。

4) いわずもがななこと

授業を欠席しない、授業に遅刻しない、規則正しい生活を心がけて体調の管理に努めるなどは、いわずもがなことでしょう。

5) 教員との気楽なコンタクト

教員は連絡先やオフィスアワーを提示して、学生諸君との気楽なコンタクトを期待しています。学習方法へのアドバイスやその他の相談事があれば、遠慮なく連絡をとってください。

なお、突然の訪問は大学生としての礼儀にかないません。オフィスアワーでの面談以外では、必ず、アポイントメントをとった上で訪問してください。

令和8年4月

保健医療学部学務委員会

目 次

科目名(科目責任者)

<看護の対象としての人間の理解>

—健康支援と社会保障制度—

看護政策論(浅井 澄代)	9
医療経済学(小野寺 亘)	11

<看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得>

—看護専門分野—

看護学概論Ⅱ(看護・看護学の成り立ち)(横山 ひろみ)	13
学校看護論(鎌田 尚子)	15
産業看護論(市原 千里)	18
国際看護論(樋口 まち子)	20
看護総合セミナー(関根 由紀子)	23

—ケアの質向上のための看護学—

パリアティブケア論(櫻庭 奈美)	28
救急看護論(井上 孝隆)	31
看護研究セミナー(千田 みゆき)	34
地域診断論Ⅰ(山路 真佐子)	36
地域診断論Ⅱ(山路 真佐子)	39
公衆衛生看護管理論(櫻井 繭子)	43

—臨地実習—

成人看護学実習Ⅲ(櫻庭 奈美)	46
在宅看護学実習(千田 みゆき)	47
実践応用の看護学実習(千田 みゆき)	49
公衆衛生看護学実習(山路 真佐子)	51

講義名	看護政策論		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 浅井 澄代	非常勤教員（大学外部）

担当教員	浅井 澄代
科目の目標	国民に安心・安全な看護を提供するための法律・制度、政策の概要および、課題の解決に向けた政策的な働きかけの方法を理解する。 また、専門職としての看護職の有する責務を認識し、課題解決に向けた対応策の提案をすることができる。
学習の具体的な目標	1) 看護を規定する保健・医療・福祉の主要な法律と制度を説明することができる。 2) 医療・看護政策の決定過程および政策と看護実践の関連について説明することができる。 3) 現在の我が国が抱える問題を明確化し、課題解決に向けた方策と看護職の役割について考察し、制度や政策への提言として論述することができる。

授業計画表

看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）				
1	年月日(曜日)	令和 8年11月19日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	政策過程論 看護を取り巻く保健・医療・福祉制度①		
	授業内容	1. 「政策とは何か」、政策のプロセスとしての理解、行政の役割や立法のしくみなど政策過程のメカニズムを説明できる。 2. 看護を規定する保健・医療・福祉の主要な法律と制度について、歴史や背景を通して理解し説明できる。 3. 現在の看護がおかれた諸々の社会的状況と、そこから生じる問題を踏まえて、看護職が政策を学ぶ意義および目的を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 8年11月19日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	看護を取り巻く保健・医療・福祉制度②		
	授業内容	"		

3	年月日(曜日)	令和 8年11月26日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	看護を取り巻く保健・医療・福祉制度③		
	授業内容	1. 現在の医療・看護政策に関する最新の検討状況から、今後の医療・看護制度の展望を述べることができる。 2. 現在の看護がおかれた諸々の社会的状況と、そこから生じる問題を踏まえて、看護職が政策を学ぶ意義および目的を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 8年11月26日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	看護職の働く環境と働き方		
	授業内容	1. 看護職の労働環境や制度を理解し現在の課題と課題解決の展望を述べるができる。 2. 現在の看護がおかれた諸々の社会的状況と、そこから生じる問題を踏まえて、看護職が政策を学ぶ意義および目的を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年12月03日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	「2040年問題」における医療看護の課題と対応策の提案(演習)		
	授業内容	1. 「2040年問題」における医療看護の状況を述べるができる。 2. 専門職としての看護という視点から「2040年問題」における医療看護の課題と対応策等について議論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年12月03日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	「2040年問題」における医療看護の課題と対応策の提案(演習)		
	授業内容	”		
7	年月日(曜日)	令和 8年12月10日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	「2040年問題」における医療看護の課題と対応策の提案(演習)		
	授業内容	1. グループでまとめた課題と対応策等について発表し、全体で質疑応答を行う。 2. 自分で気づけなかった課題や対応策等を理解し、自身の言葉で説明することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年12月10日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	浅井		
	テーマ	「2040年問題」における医療看護の課題と対応策の提案(演習)		
	授業内容	1. 「2040年問題」における医療看護の課題と対応策を提案し、提案の根拠を論述できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 出席状況、授業態度、レポートを総合的に判断して評価する。課題のレポート提出に対し、個別に講評し、返す。 2. 不合格者への再評価は行わない。
教科書	講義ごとに資料を配布する。
参考書	1. 「看護職者のための政策過程入門」第2版 執筆 見藤隆子ほか 日本看護協会出版会 2. 「看護制度と政策」 執筆 野村陽子 法政大学出版会
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどは、授業後に教室にて相談を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	授業前日には参考書等を読み予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	医療経済学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 小野寺 亘	医学部教員

担当教員	小野寺 亘
科目の目標	健康は、人間が生きていく中で、関わったり、影響を受けたりする事柄すべての総和であり、健康に向けた行動は地域社会の状況や社会環境に大きく影響される。そこで、健康を日常の生活の問題として捉え、特にその経済的な側面から医療のあるべき姿を考える。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 医療者の立場から健康のあるべき姿について一人称で説明できる。 2) 国民生活を支える社会保障制度について説明できる。 3) 国民医療費と医業に関する経費について説明できる。 4) 医療の経済的側面を説明できる。 5) 医療の質について社会経済の視点から説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 8年04月07日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	健康・医療・社会の相関		
	授業内容	健康であることの価値について考え、医療・社会の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 8年04月07日(火)	時限	2限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	授業内容	社会保険としての医療 共助を前提とした社会保障制度と医療の関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 8年04月14日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	国民医療費と医業に関する費用		

授業内容	医療費の構造を理解し、医療を支える主体ごとの役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年04月14日(火)	時限	2限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	医療の経済的側面		
	授業内容	医療は供給が需要を生む特殊な経済であることを理解し、医療制度改革の方向を議論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年04月21日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	医療における2040年問題		
	授業内容	2040年問題が我が国に及ぼす影響について議論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年04月21日(火)	時限	2限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	政権と医療政策		
	授業内容	医療改革の背景を理解し、国及び地方自治体の医療政策を議論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年04月28日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	医療の質と経済		
	授業内容	医療ビッグデータは医療の質を高めるかについて議論し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年04月28日(火)	時限	2限
	講義室	C406		
	担当者	小野寺		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	質の向上と良好なアクセスの担保が両立できるか、今までの議論を踏まえて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	出席状況、討論への参加、課題レポートの提出をもって総合的に判断する。課題レポートについては、個別に評価を行う。 不合格者には課題レポートの再提出(1回のみ)を認める。			
教科書	講義資料を開講時に配布する。			
参考書	国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 面接希望者は各日の授業後に申し出ること。即時対応する。 授業日以外はメールにてアポイントメントをとること。 E-mail: wonodera@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には講義資料の該当ページについて予習し、積極的に議論に参加すること。また、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに、余暇を利用して図書館等で関連文献の確認を行い学習内容の把握に努めること。 なお、課題レポートに対しては、コメントを付してフィードバックを行う。 開講時に配布した講義資料は毎回持参すること。			

講義名	看護学概論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ
科目の目標	看護および看護学を歴史的、社会的、文化的側面から検討し、看護の社会的使命について学ぶ。学習を通して看護専門職としての課題を考察する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護および看護学の成り立ちを歴史的、社会的、文化的側面から捉え説明できる。 2) 社会状況の変化と看護の変遷から看護に求められてきた社会的役割を述べることができる。 3) これから看護の専門職となる自分自身の課題を述べるができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 8年11月17日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	看護における重要な概念の確認(1)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学概論Ⅱの科目の目標および学習目標の説明と講義の進め方について理解できる。 2. 看護の専門性について説明できる。 3. よい看護とは何かについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 8年11月17日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	看護における重要な概念の確認(2)		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の尊厳を大切にされた看護について説明できる。 2. 看護の基本原則について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 8年11月24日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	職業としての看護の歴史と看護の発展(1)		

授業内容	1. 看護の歴史と職業としての看護の発展について説明できる。 2. 看護の高等教育化と専門職化について説明できる。 3. 社会の変化とこれからの看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年11月24日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	職業としての看護の歴史と看護の発展(2)		
	授業内容	1. 看護職者のキャリア発達について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年12月01日(火)	時限	1限
	講義室	C401・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	看護職者としての課題の明確化		
	授業内容	1. 看護職を目指す者として、看護の発展のための課題を明確にできる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年12月01日(火)	時限	2限
	講義室	C401・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
7	年月日(曜日)	令和 8年12月08日(火)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	看護職者としての課題の明確化		
	授業内容	1. 看護職を目指す者として、看護の発展のための課題を明確にできる。(各グループの発表) (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年12月08日(火)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
評価方法	1. 出席状況、授業態度、レポートを総合的に判断して評価する。 2. 評価が合格点に満たなかった場合は、追加課題を提示し再評価する。なお、再評価は1回のみとする。			
教科書	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1] 看護学概論、茂野香おる他、医学書院、2023.			
参考書	系統看護学講座 別巻[9] 看護史、杉田暉道他著、医学書院、2023.			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問などはオフィスアワーを利用すること。 【横山】 火曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントをとること。 Email : yoko_h@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	1. 授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容を深めることを心掛ける。 2. 授業はグループでの学習、ディスカッションを随時取り入れるので、授業には積極的に参加し、効果的な学習ができることを期待する。なお、教科書は事前に読み、予習しておく。 3. 課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。その内容は評価対象とする。また、各課題のレポートに対し、コメントを返す。			

講義名	学校看護論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	看護師：選択/保健師：必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 鎌田 尚子	非常勤教員（大学外部）

担当教員	鎌田 尚子
科目の目標	国の教育、保健行政における学校保健の位置づけを理解し、文部科学省(教育委員会)と地域保健や産業保健、子ども家庭庁との関連／連携から学校看護の使命と意義、および目的を明確にして子どもの心身の発育・発達における現代的心と体の健康課題の解決のために、学校看護としてできることを提言し、連携・協働する。
学習の具体的な目標	<p>文部科学省は、変動する社会に対応する教育の目標を「生きる力」の実践におく。児童生徒の健康を保持・増進する学校保健の中核的推進役は、養護教諭にあり、地域保健の保健師・看護師との協働が要となる。COVID-19、不登校、いじめ、虐待、教育や経済的格差等、現代的健康課題の実態と、その背景要因について考察でき、対処する。</p> <p>①生涯発達の基礎に、学校保健の役割と法制度の説明が出来る。 ②学校保健の目的と保健安全管理、保健安全指導とヘルスリテラシーの関連を説明できる。 ③学校保健安全管理体制と保健室経営、学校保健安全組織活動について説明できる。 ④子どもの現代的健康課題（COVID-19感染症、いじめ、不登校、自殺、虐待、飲酒・喫煙・ドラッグ、特別支援教育、生活習慣関連病、がん教育等）に対して、国の施策や法が求める未然防止、早期発見、児童生徒への健康安全教育について、学校保健の領域構造からチーム学校、チーム医療、地域保健活動等とどのように連携・協働できるか、アクティブに学び、関係者に説明や提言をし、コーディネートできる。 ⑤特別支援の児童生徒の発達課題を明らかにし、学校保健安全と学校看護の多様な観点や学校看護に必要とされる視点、及び研究課題を考察する。</p>

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 8年11月18日(水)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		
	テーマ	学校保健総論、学校保健安全の意義、教師の倫理綱領（案） 法体系-日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学校保健安全法		
	授業内容	1. 学校保健の歴史と医療・福祉・教育の法制度を総合して日本独自の学校保健を他人や海外の人と情報交流ができる。 2. 現代の教育課題と児童生徒の多様な健康問題の背景を考え、教師の使命と倫理綱領について説明する。 3. 変動する社会に対応する教育の目標「生きる力」と健康安全の保持増進及び、人類・世界のWell-beingについて、教育課程のどこで、どのように指導し、育てるか説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 8年11月18日(水)	時限	4限

講義室	C405			
担当者	鎌田			
テーマ	健康観-健康の見方・考え方、Well-being, Health Promotion, & Health Education. 養護教諭論、職務、保健室経営論 教育職員免許法-学校教育法、学校長・学校教育職員、 中央教育審議会答申：「生きる力」学習指導要領、総則、生徒指導提要			
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の見方・考え方の多様性と固有性について考える。健康教育の基盤となる子ども一人ひとりの健康観の育て方を話し合う。 2. 養護教諭の歴史、教育職員免許法、養成制度と養成課程について、法体系に基づいて説明できる。 3. 養護教諭の職務と専門職性について、看護職との相違を述べ、保健室経営について説明し、連携や協働について具体的に説明する。 4. 学校教育職員の職種とその役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 			
3	年月日(曜日)	令和 8年11月25日(水)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		
	テーマ	学校保健安全の領域構造/システムと教育職員 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校教育-保健教育-教育課程、学習指導要領：教科、道徳、総合学習、特別活動、生徒/生活指導 2) 保健安全管理-学校保健安全法-保健安全指導、 3) 組織活動-学校保健安全委員会 4) 統合：生徒指導、健康安全指導、L.G.B.T's等 		
	授業内容	学校保健の領域構造を図示する <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育法の教育課程、学習指導要領に基づく保健教育、健康教育;Health Promotion & Health Education 2. 学校保健安全法に基づく保健安全管理と保健安全指導について具体的な事例を挙げて説明できる。 3. 保健管理及び保健室経営について感染症予防やけが、いじめなどのマネジメントから考え保健指導ができる。 4. 教育と管理の縦割りの仕組みを統合して、機能的な活動にするのが、組織活動であり、チーム学校であることを理解し説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 		
4	年月日(曜日)	令和 8年11月25日(水)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		
	テーマ	児童生徒の身体的・知的/精神的・社会的発育・発達の理解。Emotional Well-beingの発達 食、睡眠、運動等のライフスタイル、性・喫煙・飲酒・薬物等の現代的健康課題の動向と保健指導		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康(WHO憲章)を身体的発育、知的・情緒的/精神的発達、社会的発達に具体化して、児童生徒に教え、実践させることができる。 2. 教職員、保護者、PTAに実態をデータ化する等、根拠を示して現代的健康課題について説明できる。生涯健康の基礎づくりのヘルスプロモーションを計画し、指導できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 		
5	年月日(曜日)	令和 8年12月02日(水)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		
	テーマ	学校保健安全の対象と健康課題 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童生徒にみられる健康・安全課題について説明し、改善策を計画できる。 2. 学校で注意すべき感染症と対策について、説明できる。 3. 医療ニーズの高い子どもに対する学校生活管理指導表を活用した指導について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 		
6	年月日(曜日)	令和 8年12月02日(水)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		
	テーマ	学校保健安全の対象と健康課題 2 特別支援教育の発達課題と現代及び将来の保健医療問題		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のある児童生徒の健康安全及び福祉、将来生活の支援について説明できる。 2. 児童生徒及び障害を持つ児童生徒の「心の問題と、対応」に関する基本的考えや進路について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 		
7	年月日(曜日)	令和 8年12月09日(水)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		

テーマ	学校環境衛生管理と教育、STG's, 地球環境の健康安全 学校環境衛生基準、日常点検と環境教育 学校安全、緊急時の対応、地域社会の安全管理体制との関連：学校安全管理、安全教育・安全指導			
授業内容	1. 環境衛生と地球環境の意味を理解し環境教育と環境衛生の実践 ①学校環境衛生基準、定期・日常点検と環境教育。 ②環境改善を提言し、実践する。 2. 学校安全、緊急時対応、危機管理、日常からの安全教育と救急体制について、教職員、児童生徒に教育できる。 3. 食と健康教育を推進するチーム学校や地域食育推進などの計画を立てることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
8	年月日(曜日)	令和 8年12月09日(水)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	鎌田		
	テーマ	多様な事例研究から、チーム学校、チーム医療、地域保健との連携・協働について多職種間連携ネットワークを考える。		
	授業内容	健康相談の事例研究 1. 学校内の専門職間の連携と協働 2. 学校外の専門職、専門機関との連携・協働、ネットワーク 3. その他、国試問題等質疑応答 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. レポートA4 (40字×40行) 2枚程度 課題：いじめや虐待、自殺の未然防止と早期発見、保健指導、現代的健康課題の発見と対策－保健指導：COVID-19他感染症との共生、がん教育、特別支援教育、不登校、ニート、スマホ等々から選び、チーム学校、チーム医療、地域包括支援との連携・協働について述べよ。 次のキーワードを使うこと：学校保健領域構造、養護教諭のコーディネーター、学校保健安全法 * レポートには、コメントをつけて返却する。 * 評価の結果、合格点に満たない場合は面接を行い、評価を決定する。			
教科書	学校保健ハンドブック<第8次改訂> 教員養成系大学保健協議会 編、ぎょうせい 略号：学保ブック(8訂・第一刷以降の新しい版)			
参考書	1. 学校保健マニュアル、改訂10版 衛藤隆他編、南山堂 2. 新版学校看護、遠藤伸子編著 東山書房 3. 学校保健実務必携第5次改訂版、学校保健・安全実務研究会 第一法規出版 4. 新訂養護概説、三木とみ子編、ぎょうせい 5. 国民衛生の動向(2025/2026)、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に相談を受ける。最終時間後に、教室で対応する。			
履修上の注意、履修要件	授業前後に、広く情報を収集する。教科書、配布資料により、学習内容の見直しを行うこと。さらに、参考文献の確認を行い、子供・青少年の現代的健康課題についてニュースや報道記事を見聞して、解決するための5W1Hを自問自答や仲間と情報交換して、学習内容の理解を深める。友人、家族、その他と意見交換をして、実践的に視野を広げること。 完全に出席すること。欠席の補講はしない。 ミニテストやアンケート、ディスカッションに積極的に参加すること。			

講義名	産業看護論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	看護師：選択/保健師：必修		
配当年次	4年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 市原 千里	非常勤教員（大学外部）

担当教員	市原 千里
科目の目標	労働と健康の関連を理解し、働く個人および集団のもつケアニーズをアセスメントし支援する方法を学びます。学習を通じて、働く人々のQOLに重要な位置を占めるQWL（Quality of Working Life）の向上を目指す支援のあり方について自己の考えをまとめる。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 労働と健康の関連を具体的に説明できる。 2) 産業保健、産業看護の目的を説明できる。 3) 産業保健体制（労働衛生管理体制）について説明できる。 4) 働く人々（個人・集団・組織）への基本的な支援の方法について具体的に説明できる。 5) 働く人々のQOLに重要な位置を占めるQWL（Quality of WorkingLife）の向上を目指す支援のあり方についての自己の考えを述べるができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 8年11月16日(月)	時限	3限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	労働衛生の動向、労働生活の理解、産業保健・産業看護の目的と産業保健体制		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 労働衛生の動向を説明できる。 2. 労働が健康に及ぼす影響、健康が労働に及ぼす影響について具体的に説明できる。 3. 産業保健・産業看護の目的を説明できる。 4. 産業保健体制（労働衛生関連法規、労働衛生の5管理、労働衛生機関）について説明できる。（予習時間30分、復習時間30分） 		
2	年月日(曜日)	令和 8年11月16日(月)	時限	4限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	働く人々（個人・集団）への支援方法 1		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 働く人々を対象とした一般健康診断・事後措置について説明できる。 2. 産業看護活動における倫理について説明できる。（予習時間30分、復習時間30分） 		
3	年月日(曜日)	令和 8年11月30日(月)	時限	3限

講義室	C210			
担当者	市原			
テーマ	働く人々（個人・集団）への支援方法2			
授業内容	1. 働く人々を対象とした特殊健康診断・事後措置について説明できる。 2. 産業看護活動における倫理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年11月30日(月)	時限	4限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	働く人々（個人・集団）への支援方法3		
	授業内容	1. 働く人々（個人・集団）のもつケアニーズ（安全で健康に働くこと、健康の維持増進など）を説明できる。 2. 作業管理の方法について説明できる。 3. 作業環境管理の方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年12月07日(月)	時限	3限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	働く人々（個人・集団）への支援方法4		
	授業内容	1. 働く人々を対象とした健康教育・ヘルスプロモーション（健康づくり）について説明できる。 2. 健康経営について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年12月07日(月)	時限	4限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	働く人々（個人・集団）への支援方法5		
	授業内容	1. 職業性ストレスとメンタルヘルス対策の基本について学び、具体的な支援方法について説明できる。 2. 職場というコミュニティの特徴を踏まえたコミュニケーション技術を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年12月14日(月)	時限	3限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	働く人々をめぐる法令		
	授業内容	1. 働く人々をめぐる法律（労働基準法、男女雇用機会均等法、育児介護休業法、労災補償保険等）について説明できる。 2. 6回までの講義内容について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年12月14日(月)	時限	4限
	講義室	C210		
	担当者	市原		
	テーマ	保健師国家試験対策 課題学習		
	授業内容	1. 7回目までの講義内容について説明できる。 2. 産業保健分野で国家試験に重要な内容や頻出する内容について説明できる。 3. 働く人々のQOLの向上に必要な対策について提示された事例について自己の考えをまとめ、課題レポートを作成する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 出席状況、授業態度、レポートを総合的に判断して評価する。再評価は実施しない。			
教科書	労働衛生のしおり〈令和7年度年度害防止協会編、中央労働災害防止協会〉			
参考書	1. 最新地域看護学 各論2 宮崎美砂子他編 日本看護協会出版会 2. 産業看護学 河野啓子著 日本看護協会出版会			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に、教室にて相談を受け付ける。			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。			

講義名	国際看護論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 樋口 まち子	非常勤教員（大学外部）

担当教員	樋口まち子
科目の目標	看護にかかわる国際社会の現状と多文化共生に基づいた国際看護活動の状況を概観し、国際社会における日本の看護職の役割について理解する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国際社会の現状と国際看護活動の課題について述べることができる。 2) 国際看護活動の支援を必要としている対象について説明できる。 3) 国際看護活動を実施する人や組織について述べるができる。 4) 国際看護活動の展開プロセスを説明できる。 5) 多文化共生と国際看護活動の関係性について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 8年04月13日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際社会の現状と健康課題		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際看護を定義する概念（ICN看護倫理、人権、人間の安全保障、持続可能な開発目標等）について説明できる。 2. 健康に影響を与える要因（自然環境、社会経済、政治、文化、性別、教育等）について説明できる。（予習時間30分、復習時間30分） 		
2	年月日(曜日)	令和 8年04月13日(月)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際的健康課題と国際看護活動		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康に与える負の要因の削減に向けた看護の役割について説明できる。 2. 共生社会の形成に向けた国際協力と日本の看護職の役割について説明できる。（予習時間30分、復習時間30分） 		
3	年月日(曜日)	令和 8年04月13日(月)	時限	4限
	講義室	C302		

担当者	樋口			
テーマ	保健医療分野における国際協力の枠組み			
授業内容	1. 保健医療分野における国際機関について説明できる。 2. 日本の国際協力活動について説明できる。 3. 国内外のNGOによる国際協力活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年04月15日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	グローバリゼーションと国際看護活動(1)		
	授業内容	1. 国外における看護活動の意義について説明できる。 2. 国外における看護活動の枠組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年04月15日(水)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	グローバリゼーションと国際看護活動(2)		
	授業内容	1. 在日外国人・訪日外国人の健康課題について説明できる。 2. 在日外国人・訪日外国人への看護活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年04月15日(水)	時限	5限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	グローバリゼーションと国際看護活動(3)		
	授業内容	1. 世界的看護職不足と労働環境の整備について説明できる。 2. 看護職の国際移動と看護の質の確保について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年04月20日(月)	時限	2限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	多文化共生と国際看護活動(1)		
	授業内容	1. 文化的存在としての人間理解について説明できる。 2. 異文化コミュニケーションについて説明できる。 3. 異文化適応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年04月20日(月)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	多文化共生と国際看護活動(2)		
	授業内容	1. 看護活動における異文化理解と自文化理解について説明できる。 2. 文化を考慮した看護について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 8年04月20日(月)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	看護と医療人類学的視点		
	授業内容	1. 国際看護活動と伝統的保健行動について説明できる。 2. 看護学と医療人類学の融合について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 8年04月22日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際看護活動におけるプライマリヘルスケア		

授業内容	1. プライマリヘルスケアの理念について説明できる。 2. プライマリヘルスケアの展開と看護の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 8年04月22日(水)	時限	4限
	講義室	G302		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際看護活動におけるヘルスプロモーション		
	授業内容	1. ヘルスプロモーションの理念について説明できる。 2. ヘルスプロモーションの展開と看護の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年04月22日(水)	時限	5限
	講義室	G302		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際看護活動におけるプライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの融合		
	授業内容	1. 内発的発展とエンパワーメントについて説明できる。 2. 国際協力における当事者主体の看護活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年04月24日(金)	時限	3限
	講義室	G203		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際看護活動実践のプロセス (1)		
	授業内容	1. 地域を把握する方法について説明できる。 2. 地域アセスメントのために必要な情報とその分析について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年04月24日(金)	時限	4限
	講義室	G203		
	担当者	樋口		
	テーマ	国際看護活動実践のプロセス (2)		
	授業内容	1. 大規模プロジェクトにおける手法について説明できる。 2. プライマリヘルスケアおよびヘルスプロモーション実践のための調査方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年04月24日(金)	時限	5限
	講義室	G203		
	担当者	樋口		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 看護の国際性と看護職の専門性の発展について考察することができる。 2. 質疑応答 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 出席状況、授業態度、課題レポートを総合的に評価する。 2. 最終課題レポート内容 「授業で学んだことから、日本の看護師が国際社会で果たすべき役割についてあなたの考えを論じなさい」 形式：A4サイズ用紙(40字×40行)3枚程度にレポートを作成し、5月8日(金)17:00までに事務室窓口に出す。 3. 再試なし			
教科書	新体系看護学全書 樋口まち子編 看護の統合と実践③ 国際看護学第5版、メヂカルフレンド社			
参考書	1. もうひとつの島国・スリランカ：内戦に隠れた文化と暮らし、樋口まち子著、ぶなのもり 2. ケースで学ぶ国際開発、山口しのぶ他編、東信堂 3. その他、授業で提示する。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に、教室にて相談を受け付ける。			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。			

講義名	看護総合セミナー		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 関根 由紀子	看護学科教員

担当教員	関根由紀子・牧野 好倫・田邊 一郎・辻 美隆・嶋崎 晴雄・与五沢真吾・飯野 望・金子 優子・山賀 貴・奈良かな子
科目の目標	各領域で学んだ既習の知識を総合的に結びつけて、一人の人間を看護するという視点をもって、科学的根拠に基づいた看護を展開するための思考力を強化する。人体の機能と構造の理解に基づいて、疾病の成り立ちと疾病からの回復の機序と治療方法を理解し、その上で、その人にとって必要な看護を、状況に応じて考える力を養う。また、公衆衛生の知識と結び付けて健康現象を説明し、1次予防から3次予防に至る看護活動について学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 看護に必要な人体の構造と機能、疾病の成り立ち、薬理、公衆衛生について説明できる。 2) 各看護領域ごとに事例をもとに、身体的、精神的、社会的あるいはスピリチュアルな側面から重要な情報を整理し、健康課題を明確にできる。 3) 主要な疾病や障害の症状、原因、病態、機能障害、治療、予後、およびその健康課題の解決のために必要な看護について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 8年07月21日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	関根・奈良		
	テーマ	基礎看護学(1)		
	授業内容	1. 看護における基本技術について説明できる。 2. 日常生活援助技術の援助の要点を説明できる。 3. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 8年07月21日(火)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	奈良・関根		
	テーマ	基礎看護学(2)		
	授業内容	1. 患者の安全・安楽を守る看護技術の要点を説明できる。 2. 診療に伴う看護技術の要点を説明できる。 3. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 8年07月22日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	田邊		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(1)循環器・消化器		
	授業内容	1. 循環器疾患を分類し、それぞれの病因・病態について説明できる。 2. 代表的な循環器疾患の診断と治療について説明できる。 3. 重症心不全と移植医療について概説できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 8年07月22日(水)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	田邊		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(2)循環器・消化器		
	授業内容	1. 消化器疾患を分類し、それぞれの病因・病態を概説できる。 2. 代表的な消化器疾患の診断と治療を説明できる。 3. 代表的な肝・胆・膵疾患の診断と治療を説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年07月23日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	田邊		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(3)呼吸器		
	授業内容	1. 呼吸器疾患を分類し、それぞれの病因・病態を概説できる。 2. 代表的な呼吸器疾患の発症様式と診断の要点を説明できる。 3. 代表的な呼吸器疾患の治療と予後について説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年07月23日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	奈良・関根		
	テーマ	基礎看護学(3)		
	授業内容	1. 基礎看護技術を実施する上で必要な計算ができる。(輸液療法、酸素ボンベ、消毒薬の希釈) 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年07月24日(金)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能と看護(1)ガス交換と血液		
	授業内容	1. 肺および組織におけるガス交換の仕組みを説明できる。 2. 肺気腫の意味と測定の仕方を説明できる。 3. 赤血球、ヘモグロビン、酸素・二酸化炭素運搬について説明できる。 4. 赤血球の生成と破壊について説明できる。 5. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年07月24日(金)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能と看護(2)尿生成と体液調節		
	授業内容	1. 腎臓の様々な働きについて説明できる。 2. 腎臓による水分調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓による塩分調節の仕組みについて説明できる。 4. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 5. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 8年07月24日(金)	時限	4限
	講義室	C203		

担当者	嶋崎			
テーマ	疾病の成り立ちと看護(4)神経・膠原病			
授業内容	1. 神経疾患を分類し、それぞれの病因・病態を概説できる。 2. 代表的な神経疾患の発症様式と診断の要点を説明できる。 3. 代表的な神経疾患の治療と予後について説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 1			
10	年月日(曜日)	令和 8年07月27日(月)	時限	2限
	講義室	G402		
	担当者	飯野		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(5)血液		
	授業内容	1. 血液の各成分の働きと正常値について説明できる。 2. 血液疾患を分類し、代表的な血液疾患の診断と治療について概説できる。 3. 骨髄の悪性疾患について説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 8年07月27日(月)	時限	3限
	講義室	講堂2F		
	担当者	山賀		
	テーマ	公衆衛生学と看護(1)		
	授業内容	1. 予防医学の概念と実践、衛生行政全般について説明できる。 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年07月27日(月)	時限	4限
	講義室	講堂2F		
	担当者	山賀		
	テーマ	公衆衛生学と看護(2)		
	授業内容	1. 我が国の人口統計(人口静態統計、人口動態統計)の動向を説明できる。 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年07月29日(水)	時限	3限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	公衆衛生学と看護(3)		
	授業内容	1. 国民生活基礎調査、患者調査および我が国の保健活動(健康日本21、母子保健対策、精神保健対策等)について概要を説明できる。 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年07月29日(水)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	与五沢		
	テーマ	公衆衛生学と看護(4)		
	授業内容	1. 我が国の環境問題の歴史と現状を説明できる。 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年07月31日(金)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能と看護(3)心臓と心電図		
	授業内容	1. 心周期と心電図、心音、弁、心内圧、大動脈圧の関係を説明できる。 2. 心電図から心拍数を計算できる。 3. 心拍数、心拍出量、血圧の調節の仕組みについて説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 8年07月31日(金)	時限	3限

講義室	講堂2F			
担当者	金子			
テーマ	人体の構造と機能と看護(4)女性性周期とホルモン、消化器系の酵素とホルモン			
授業内容	1. 女性性周期とホルモンの変動について説明できる。 2. 消化器系の臓器から分泌される酵素およびホルモンを列挙し、それらの働きについて説明できる。 3. 栄養素の消化と吸収の過程について説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
17	年月日(曜日)	令和 8年07月31日(金)	時限	4限
	講義室	講堂2F		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(6)神経・膠原病		
	授業内容	1. 膠原病・リウマチ疾患を分類し、それぞれの病因・病態を概説できる。 2. 代表的な膠原病・リウマチ疾患の発症様式と診断の要点を説明できる。 3. 代表的な膠原病・リウマチ疾患の治療と予後について説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 8年11月27日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	牧野		
	テーマ	薬理学と看護(1)		
	授業内容	1. 看護師に必要な薬物関連法規の内容について説明できる。 2. 薬物の体内動態について説明できる。 3. 薬物効果と年齢の関係を説明できる。 4. 薬物相互作用について説明できる。 5. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 8年11月27日(金)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	牧野		
	テーマ	薬理学と看護(2)		
	授業内容	1. 代表的な中枢神経系薬、自律神経系薬、オータコイド関連薬、心臓血管系作用薬、血液系作用薬、呼吸器系作用薬、消化器系作用薬、内分泌系作用薬、化学療法薬および悪性腫瘍治療薬の薬理作用、作用機序および副作用を説明できる。 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 8年12月08日(火)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	与五沢		
	テーマ	公衆衛生学と看護(5)		
	授業内容	1. 我が国の労働衛生の現状を説明できる。 2. 作業関連疾患について説明できる。 3. 職業病について説明できる。 4. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 8年12月08日(火)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	与五沢		
	テーマ	公衆衛生学と看護(6)		
	授業内容	1. 現在問題となっている感染症の疫学および我が国の感染症対策について説明できる。 2. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 8年12月11日(金)	時限	2限
	講義室	C301		
	担当者	嶋崎		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(7)内分泌・代謝		

授業内容	1. 内分泌・代謝疾患を分類し、それぞれの病因・病態を概説できる。 2. 糖尿病の病型分類と病因について説明できる。 3. 糖尿病の診断と治療について概説できる。 4. 痛風その他の代表的な代謝性疾患の診断と治療について概説できる。 5. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
23	年月日(曜日)	令和 8年12月17日(木)	時限	4限
	講義室	G203		
	担当者	辻		
	テーマ	疾病の成り立ちと看護(8)腎・尿路・外科総論		
	授業内容	1. 腎・尿路系の構造と機能について説明できる。 2. 腎機能検査とその意義について説明できる。 3. 腎・尿路系の代表的な疾患の診断と治療について概説できる。 4. 滅菌と消毒、創傷治癒と縫合法・止血法について説明できる。 5. テーマに関する国家試験問題についての質疑応答を通して、問題を説明し解答できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	出席状況、授業態度、授業中の小テスト、課題レポート、筆記試験を総合的に評価する。			
教科書	各領域で使用した教科書			
参考書	事前あるいは授業時に提示する。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 平日12:10~12:30 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 関根由紀子 Email:sekiney@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに、余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。			

講義名	パリアティブケア論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻庭 奈美	看護学科教員

担当教員	櫻庭 奈美・青木 君恵・矢吹みどり
科目の目標	本講義では、パリアティブケアの概念と歴史的背景を理解し、人の生と死の在り様を探究する。治癒が困難な患者と家族を理解し、QOLを支える全人的ケアの基本的知識と技術を修得する。さらに、緩和ケアと支持医療の意義を踏まえ、がんなど生命を脅かす疾患における特徴や課題を学び、支援体制のあり方を検討しながらケアの本質を深く理解することを目指す。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. パリアティブケアの現況について調べ、患者、家族、制度における課題をプレゼンテーションとディスカッションを通して解決策を創造することができる。 2. ささまざまな病いにおけるパリアティブケアの現状と特徴をディベートを通して認識し、パリアティブケアの相違を踏まえて説明することができる。 3. 終末期、臨終期にある患者と家族の現状と支援についてディベートすることができる。 4. 医療や福祉の現場におけるパリアティブケアの課題を説明することができる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 8年11月18日(水)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	パリアティブケアとは何か		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. パリアティブケアの概念について説明できる。 2. パリアティブケアを受けている対象および対象疾患、ケアの目的、病期の特徴を説明できる。 これらについて、パリアティブケアを受けている患者の手記、ブログをもとに学生が現況を説明し、プレゼンテーションをもとにディスカッションする。 （予習時間1時間、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 8年11月25日(水)	時限	1限
	講義室	C405		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	さまざまな病いにおけるパリアティブケア		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん以外の病いにおけるパリアティブケアの特徴について説明できる。 講義を受け、それぞれの疾患の特徴となりゆきを踏まえ、パリアティブケアの課題について整理する。 （予習時間30分、復習時間30分）		

3	年月日(曜日)	令和 8年11月25日(水)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	青木		
	テーマ	がんにおけるパリアティブケア		
	授業内容	1. がん患者のパリアティブケアの特徴について説明できる。 2. がん患者のパリアティブケアの特徴について論文をもとに概説する。 テーマに関連した論文を紹介しあい、ディスカッションを通してパリアティブケアの内容と課題を整理する。 (予習時間1時間、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 8年12月02日(水)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	青木		
	テーマ	パリアティブケアの現状と課題		
	授業内容	1. さまざまな病いにおけるパリアティブケアについてプレゼンテーションを行う。 2. 疾患によるパリアティブケアの相違点についてディスカッションを通して整理する。 (予習時間1時間、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年12月09日(水)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	櫻庭・矢吹		
	テーマ	家族の悲嘆と苦悩		
	授業内容	1. 家族の悲嘆と苦悩について事例をもとにディスカッションできる。 2. 死を迎える患者とその家族がおかれている状況、抱える課題について視覚教材を通して予測する。 3. 家族を支える社会資源の活用について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年12月15日(火)	時限	2限
	講義室	C406		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	終末期にむかう患者の家族への支援		
	授業内容	1. 終末期にある患者の状態を説明することができる。 2. Advance care planningについて討議し、患者、家族それぞれの視点から生き方に対する希望を整理することができる。 テーマに関連した書籍・論文を読みディスカッションを通して臨終期にある家族への支援を検討する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年12月23日(水)	時限	1限
	講義室	C405		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	臨終期における患者の身体症状とその変化		
	授業内容	1. 臨終期における患者の事例を用いて、患者と家族の苦痛を予測することができる。 2. 病院での死後の処置の方法とその実際について説明できる。 指定したDVDを視聴し、ディスカッションを通して臨終期の患者への支援を検討する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年12月23日(水)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	櫻庭		
	テーマ	パリアティブケアの実践につなげる基礎知識		
	授業内容	1. 臨終期、死亡後の患者と家族への支援について事例検討を通して3つの具体策を示すことができる。 2. 臨終期にある患者とその家族に対する支援の在り方についてディスカッションし、実際の支援を実演することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	ディベート・ディスカッションへの参加・プレゼンテーション(80%)、課題(20%)を総合的に判断して評価する。 評価が合格点に満たなかった場合は、追加課題を提示し再評価する。ただし再評価は1回のみとする。			
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する。			
参考書	1. 成人看護技術がん・ターミナルケア, 神田清子他, メヂカルフレンド社 (成人看護学方法論Ⅲと同じ)			

	その他開講時に提示する
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【櫻庭】 月曜日の13時から14時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email : sakuraba@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>バリエイティブケアについて実習での経験を整理する。 成人看護学方法論Ⅲを履修し、内容を理解していることが望ましい。 ディベート、ディスカッションへの積極的な参加を期待します。</p>

講義名	救急看護論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	4年後期		

担当教員

職種	氏名	所属
医師	◎ 井上 孝隆	医学部教員

担当教員	井上 孝隆・内藤 茜・守屋 信昭・大塚 翔太
科目の目標	年齢や疾患、発症場所や状況を問わず、緊急性の高い状態にある人を対象とする救急医療において、看護の役割を理解し、救急看護における課題を考察する。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 救急医療システムを述べることができる。 2) 救命救急に必要な患者及び家族の特徴を説明できる。 3) 救命救急に関わる看護師の役割を説明できる。 4) 救命救急における諸問題を考察することができる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 8年11月16日(月)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	井上		
	テーマ	救急救命とは（総論）		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急医療の歴史を説明できる。 2. 救急医療システムを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 8年11月16日(月)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	大塚		
	テーマ	救急救命における看護の役割（1）		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般診療との違いを説明できる。 2. 生理学的・解剖学的評価を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 8年11月30日(月)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	大塚		

テーマ	救急救命における看護の役割 (2)			
授業内容	1. 救急医療における看護師の役割を説明できる。 2. 救急患者・家族への接遇を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年11月30日(月)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	内藤		
	テーマ	救急医療における緊急処置		
	授業内容	1. ABCDEsアプローチを説明できる。 2. 緊急気道確保や呼吸補助、循環維持について説明できる。 3. 緊急処置時における看護師の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年12月07日(月)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	守屋		
	テーマ	外傷における看護		
	授業内容	1. 重症度 (AIS、ISS) を説明できる。 2. 多発外傷の特徴を説明できる。 3. 防ぎ得た外傷死を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年12月07日(月)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	内藤		
	テーマ	災害時における看護 (1)		
	授業内容	1. 災害について説明できる。 2. CSCATTTを説明できる。 3. トリアージの方法 (START法とPAT法) を説明できる。 4. 災害弱者について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年12月14日(月)	時限	1限
	講義室	C210		
	担当者	守屋		
	テーマ	災害時における看護 (2)		
	授業内容	1. DMATについて説明できる 2. 災害時における看護師の役割について説明できる (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年12月14日(月)	時限	2限
	講義室	C210		
	担当者	内藤・大塚		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 救急救命の場における医療と看護について考察を深めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	出席状況、受講態度、レポート作成などをもって、総合的に評価する。レポート提出日の期限を厳守すること。また、レポート提出に対しコメントを返す。 再試は実施しない。
教科書	授業毎に内容に沿った資料を配布する。
参考書	1. 成人看護学 第2版、黒田裕子編集、医学書院 2. 救急看護学、山勢博彰他著、医学書院 3. 成人看護学 急性期看護Ⅱ救急看護、佐藤まゆみ他編、南江堂 4. 災害看護、黒田裕子他編、メディカ出版 5. 成人看護学 救急看護論、山勢博彰編、ヌーヴェルヒロカワ 6. Nursing Selection⑩ 救急ケア、中村恵子著、学研マーケティング
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室で相談を受け付けるか電子メールで受け付ける。電子メールでの相談は簡素に記載すること。 井上 : yi40891@5931.saitama-med.ac.jp 内藤 : a_naito@saitama-med.ac.jp

履修上の注意、履修要件

・授業前日には該当内容を予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	看護研究セミナー		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
基準単位数	3	時間	90.00
代表曜日	火曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	3単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年通年		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 千田 みゆき	看護学科教員

担当教員	千田みゆき・横山ひろみ・関根由紀子・山崎美智子・奈良かな子・塩見 直子・鳥海 美穂子・加古 幸子・中島久美子・高取純次郎・金子 優子・大野美佐子・本谷久美子・櫻庭 奈美・青木 君恵・工藤 岳夫・宍戸 裕子・丸井 明美・鳥谷めぐみ・（高橋）・土師しのぶ・川合 美奈・齋藤美奈子・大森 智美・藤村 博恵・松坂 充子・大賀 淳子・大澤 優子・大木田亜衣・山路真佐子・西岡ひとみ・櫻井 繭子・村田 美穂・野田 万里・内田 久子・川端 泰子
科目の目標	看護研究セミナーにおいては、実際に看護研究に取り組み、研究論文を書きあげる。研究は、科学的なものの方を身につける場として、あるいは4年間の総まとめとして、さらに、いかに看護学を展開していくかを考える場として位置づける。また、文献講読、データの整理などの過程を通じて、あるいは卒業研究のための実習や実習体験の振り返りを通して、看護の視点とその特徴を明確にすることも目的とする。看護研究セミナーは、看護教員全員が担当し、個別に、あるいはグループでの指導を行う。
学習の具体的な目標	授業形態：ディスカッション、発表含む。 1) 看護に関わる学習から生じた疑問・興味・関心から研究課題（テーマ）を明らかにし、適切な研究方法の選択等、論文作成までの一連のプロセスを体験的に学ぶ。 2) 看護職が研究することの意味について体験的に学ぶ。 3) 学習を通して、研究的態度を培う。
授業計画表	1) 原則として、研究は単独で行う。2) 各領域別の研究指導は担当指導教員の指導により行われる。3) 領域別オリエンテーションを4月上旬前後に実施する。4) 指導時間は、個別に担当指導教員と話し合って決定する。
評価方法	研究論文および論文作成過程の学習を総合的に評価する。
教科書	1. 看護における研究、南裕子編、日本看護協会出版会 2. 看護研究概論の授業での配布資料
参考書	1. これからの看護研究—基礎と応用— 第3版、小笠原和枝・松木光子編、ヌーベルヒロカワ 2. ナースのための質的研究入門 第2版、野口美和子監訳、医学書院 3. その他、担当指導教員より、別に指示する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【千田】平日12:10~12:30 上記時間内に訪問できない場合は、アポイントメントをとること。 Email: chida@saitama-med.ac.jp その他の教員については、担当指導教員より連絡する。

履修上の注意、履修要件	<p>授業・セミナー前には研究概論の教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。</p> <p>担当教員の研究指導を受けて、計画的に進めること。</p> <p>授業は、研究指導の日程調整を含め、学生が主体的に学習を進めること。</p> <p>研究計画書は必ず作成し、発表する。</p> <p>原則として、研究終了後は発表会において発表する。 (予習時間30分、復習時間30分)</p> <p>◎提出物について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論文は、A4サイズ10枚以内（16000字程度）とし、指導を受けた領域に提出する。 2. 研究論文抄録集を作成する。A4サイズ1枚の抄録原稿を指定の期限内に提出する。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

講義名	地域診断論 I		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	看護師：選択/保健師：必修		
配当年次	4年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・千田みゆき
科目の目標	成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅看護学の知識を統合して、地域診断（地域アセスメント）の目的を理解した上で、地域特性と地域集団の特徴を把握し、地域の顕在的・潜在的な健康問題を多角的・継続的・包括的にアセスメントし、地域の社会資源を活用して人々が主体的に自らの健康課題を解決できるよう、地域の特性や住民のニーズに応じた評価計画を含む保健事業計画を立案する方法を学ぶ。また、保健計画を推進するための予算のしくみについて学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地域保健活動の基本について説明できる。 2) 地域診断（地域アセスメント）の目的、過程、方法について説明できる。 3) 保健医療福祉における事業化の目的と過程について説明できる。 4) PDCAサイクルと地域診断について説明できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 8年04月08日(水)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	山路		
	テーマ	地域保健活動の基本と地域診断（地域アセスメント）の基本		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における活動の意義と対象を説明できる。 2. 地域診断の概念、地域診断の考え方と特徴を説明できる。 3. 地域診断（地域アセスメント）に関する理論・モデルを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 8年04月08日(水)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	山路		
	テーマ	地域診断（地域アセスメント）過程と方法		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域診断（地域アセスメント）の目的を説明できる。 2. 地域診断（地域アセスメント）の過程を説明できる 3. 地域診断（地域アセスメント）の方法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

3	年月日(曜日)	令和 8年04月10日(金)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	山路		
	テーマ	地域診断(1) 情報収集と分析方法①		
授業内容	1. 地域の特性と地域集団の特徴を把握するための情報収集を説明できる。 2. 日常的な保健師活動からの顕在ニーズ・潜在ニーズの把握と分析について説明できる。 3. 住民ニーズの把握のための住民の意識聴取について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 8年04月13日(月)	時限	1限
	講義室	C405		
	担当者	山路		
	テーマ	地域診断(2) 情報収集と分析方法②		
授業内容	1. 住民ニーズの把握のための実態調査について説明できる。 2. 既存の統計資料の分析と解釈について説明できる。 3. 社会資源・関係機関の把握と分析について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
5	年月日(曜日)	令和 8年04月14日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	山路		
	テーマ	地域診断(3) 健康ニーズ・健康課題の明確化		
授業内容	1. 地域の健康課題の特定と予測について説明できる。 2. 地域の健康に影響する背景・要因の把握を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
6	年月日(曜日)	令和 8年04月20日(月)	時限	1限
	講義室	C405		
	担当者	山路		
	テーマ	地域診断(4) 地域保健活動の計画立案		
授業内容	1. 健康課題の解決のための強みと弱みの把握について説明できる。 2. 健康課題解決のため地域保健活動計画の立案について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
7	年月日(曜日)	令和 8年04月28日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	千田		
	テーマ	保健医療福祉における事業化(1)		
授業内容	1. サービスの公平性、利用可能なサービスの創設について説明できる。 2. 事業の法的根拠と事業の位置づけの明確化を説明できる。 3. 事業計画の策定、予算確保、マンパワーの確保と調整を説明できる。 4. 事業の周知・広報と事業委託、アウトソーシングについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
8	年月日(曜日)	令和 8年04月30日(木)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	千田		
	テーマ	保健医療福祉における事業化(2)		
授業内容	1. 計画の推進(モニタリング・進行管理と計画調整)について説明できる。 2. 評価と事業の見直しについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
評価方法	1. 期末試験(5月9日(土)2限、90%)、出席状況、授業参加態度(10%)で評価する。45分以上の遅刻は欠席とする。 2. 1の総合評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 *詳細は、第1回授業の際に説明する。			
教科書	1. 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術, 岸恵美子他編, メヂカルフレンド社, 2022. 2. 厚生省の指標 増刊 Vol.72 No.9 国民衛生の動向2025/26, 厚生労働統計協会, 2025.			
参考書	1. 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版, 標美奈子他, 医学書院, 2022. 2. コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版, エリザベスT. アンダーソン、ジュディス・マクファーレン編, 医学書院, 2007.			

	<p>3. 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版, 佐伯和子編, 医歯薬出版株式会社, 2018.</p> <p>4. 公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術 第2版, 佐伯和子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022.</p> <p>5. 公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動I 第2版, 岡本玲子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022.</p> <p>6. 公衆衛生看護学第3版, 上野昌江 和泉京子編, 中央法規, 2020.</p> <p>7. 公衆衛生看護学.jp 第6版, 鳩野洋子・神庭純子編, インターメディカル, 2024.</p> <p>8. 新版保健師業務要覧 第3版 2025年版, 井伊久美子他編, 日本看護協会出版, 2025.</p> <p>9. 地域看護診断 第2版, 金川克子 田高悦子編, 東京大学出版会, 2015.</p> <p>10. 地域診断法—鳥の目、虫の目、科学の目, 近江環人地域再生学座編, 新評論, 2012.</p> <p>11. 公衆衛生がみえる 2024-2025, 医療情報科学研究所編, メディックメディア, 2024.</p>
<p>連絡先/オフィスアワー</p>	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【山路】</p> <p>月・火曜日 16:30~17:30</p> <p>上記時間帯以外での面接希望者は、メールにてアポイントメントをとること。</p> <p>E-mail: yamaji@saitama-med.ac.jp</p>
<p>履修上の注意、履修要件</p>	<p>○地域診断論Ⅰを履修していないと地域診断論Ⅱは履修できません。</p> <p>○授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。</p> <p>○保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位が取れない場合は公衆衛生看護学実習を履修できません。</p>

講義名	地域診断論Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	看護師：選択/保健師：必修		
配当年次	4年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・千田みゆき・櫻井 繭子・村田 美穂・野田 万里・内田 久子・川端 泰子
科目の目標	特定地域の地域特性と地域集団の特徴を把握し、地域の顕在的・潜在的健康問題を多角的・継続的・包括的にアセスメントし、評価計画を含む保健事業計画を立案する演習を通して、地域診断のプロセスと方法を具体的に学ぶ。また、成人・老年・小児・母性・精神・在宅看護学の知識を統合して、行った地域診断に基づいて健康課題解決のための各種保健事業を企画することにより、ハイリスクアプローチとポピレーションアプローチを連動させて展開することの必要性と個人・家族・地域（集団・組織）地域社会の健康課題・健康ニーズに沿った支援について学ぶ。
学習の具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地域診断の特性と地域集団の特徴の把握ができる。 2) 地域で利用できる資源の評価ができる。 3) 多角的・継続的・包括的にアセスメントし、地域の健康ニーズと地域の顕在的・潜在的な健康問題を明らかにできる。 4) 地域で取り組むべき健康課題の活動目的と対象とする個人・家族・地域（集団・組織）・地域社会の健康課題・健康ニーズに沿った支援の具体策を明確にすることができる。 5) 保健師の行う地域診断の特徴と意義、およびハイリスクアプローチとポピレーションアプローチの連動による活動の展開と個人・家族・地域（集団・組織）地域社会の健康課題・健康ニーズに沿った支援の必要性について考察できる。

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 8年04月07日(火)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域診断のプロセス、および演習のオリエンテーション		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域診断のプロセスを説明できる。 2. 地域診断の演習のオリエンテーションを受けて、演習の内容を行動レベルで説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分) 		
2	年月日(曜日)	令和 8年04月07日(火)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域の情報収集と情報の整理①情報の選択と情報源の検討		

授業内容	1. 実習をする市町村について、コミュニティ・アズ・パートナーモデルに基づいて地域診断をするためにどのような情報を収集したらよいか、また、どのような資料から情報が得られるかの検討を行い、情報収集計画を立てることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 8年04月09日(木)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域の情報収集と情報の整理②情報収集計画に沿った情報収集		
	授業内容	1. 情報収集計画に沿って、地域の特性、地域集団の特徴に関する情報を収集することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 8年04月09日(木)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域の情報収集と情報の整理③情報の検討		
	授業内容	1. 収集した地域の特性、地域集団の特徴の情報から重要な情報の抽出を行い、比較・分類して整理することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 8年04月15日(水)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域の情報収集と情報の整理④情報の図表化		
	授業内容	1. 地域の環境(地形、交通網等)、生活に主要な施設、保健・医療機関等が記載した地域の地図を作成することができる。 2. 地域の特性、地域集団の特徴に関する重要な情報を比較・分類して整理した情報を図表化することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年04月16日(木)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域特性と地域集団特性の明確化①地域特性の検討		
	授業内容	1. 集めた情報を分析し、地域の特性、地域集団の特性を明らかにすることができる。 2. 地域で利用できる資源の評価ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年04月16日(木)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域特性と地域集団特性の明確化②地域集団の特性の検討		
	授業内容	1. 保健活動を展開するのに重要な地域の特性、地域集団の特性を明らかにすることができる。 2. 地域の特性、地域集団の特性について発表の準備をすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年04月17日(金)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域の特性と地域集団の特性(発表)		
	授業内容	1. 地域の特性、地域集団の特徴について発表することができる。 2. 他のグループの発表を聞いて、地域の特性、地域集団の特徴を把握する必要性を考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 8年04月22日(水)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	健康課題・健康ニーズの明確化①顕在的問題の検討		
	授業内容			

- 健康課題・健康ニーズを分析するのに不足な情報を補うことができる。
- 集めた情報を分析し、顕在的健康課題・健康ニーズを明らかにすることができる。
(予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 8年04月24日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	健康課題・健康ニーズの明確化②潜在的問題の検討		
	授業内容	1. 集めた情報を分析し、潜在的健康課題・健康ニーズを明らかにすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 8年04月27日(月)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	健康課題・健康ニーズの明確化③問題の優先度の検討		
	授業内容	1. 明らかにした顕在的・潜在的な健康課題・健康ニーズについて優先度を検討し、優先度が高い取り組むべき健康課題・健康ニーズを明らかにすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 8年04月30日(木)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域保健活動の目的と具体的な対策の明確化①予防的視点に基づく活動目的の検討		
	授業内容	1. 健康課題・健康ニーズを解決するための保健活動の目的を明らかにすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年04月30日(木)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域保健活動の目的と具体的な対策の明確化②具体策の検討		
	授業内容	1. 対象とする個人・家族・集団・地域社会の健康課題・健康ニーズに沿った支援の具体策を明確にすることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年05月01日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	地域保健活動の目的と具体的な対策の明確化③発表資料準備		
	授業内容	1. 健康課題と健康ニーズ、活動目的と具体策について発表するための準備ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年05月07日(木)	時限	2限
	講義室	C406		
	担当者	山路・千田・櫻井・村田・野田・内田・川端		
	テーマ	健康課題・健康ニーズとその保健活動の目的と具体策(発表)		
	授業内容	1. グループ毎に地域の健康課題・健康ニーズ、活動目的と具体策について発表することができる。 2. 保健師が行う地域診断について考察できる。(レポート課題) (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 演習の成果物と発表、レポート、期末試験(5月9日(土)3限)、出席状況、演習参加態度で総合評価(試験60%、それ以外40%)をする。但し、期末試験が50点以下の場合には再試験対象とする。また、レポート提出に対しコメントを返す。45分以上の遅刻は欠席とする。 1の総合評価が不合格の場合、再試験を1回行う。 * 詳細は、第1回授業の際に説明する。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教科書	<ol style="list-style-type: none"> 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術, 岸恵美子他編, メヂカルフレンド社, 2022. 厚生指針 増刊 Vol. 72 No. 9 国民衛生の動向2025/26, 厚生労働統計協会, 2025.
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考書	<ol style="list-style-type: none"> 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版, 標美奈子他, 医学書院, 2022. コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版, エリザベスT. アンダーソン、ジュディス・マクファーレン編, 医学書院, 2007. 地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版, 佐伯和子編, 医歯薬出版株式会社, 2018. 公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術 第2版, 佐伯和子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022.
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>5. 公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動I 第2版, 岡本玲子他編, 医歯薬出版株式会社, 2022</p> <p>6. 公衆衛生看護学 第4版, 和泉京子・上野昌江編, 中央法規, 2025.</p> <p>7. 公衆衛生看護学jp. 第6版, 鳩野洋子 神庭純子編, インターメディカル, 2024.</p> <p>8. 新版保健師業務要覧 第4版 2025年版, 井伊久美子他編, 日本看護協会出版, 2025.</p> <p>9. 地域看護診断 第2版, 金川克子 田高悦子編, 東京大学出版会, 2015</p> <p>10. 地域診断のすすめ方 根拠に基づく生活習慣病対策と評価 第2版, 水嶋春朔, 医学書院, 2006.</p> <p>11. 地域診断法—鳥の目、虫の目、科学の目, 近江環人 地域再生学座編, 新評論, 2012.</p> <p>12. 公衆衛生がみえる 2024-2025, 医療情報科学研究所編, メディックメディア, 2024.</p>
<p>連絡先/オフィスアワー</p>	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【山路】 月・火曜日 16:30~17:30 上記時間帯以外での面接希望者は、メールにてアポイントメントをとること。 E-mail: yamaji@saitama-med.ac.jp</p>
<p>履修上の注意、履修要件</p>	<p>○地域診断論Ⅰを履修していないと地域診断論Ⅱは履修できません。</p> <p>○授業前日には演習要項の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書の確認を怠らないこと。レポートの提出は、指定された期日を厳守すること。</p> <p>○主にグループワークとなります。自主的に参加してください。</p> <p>○保健師活動の基本となる知識と技術です。4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となるので、単位がとれない場合は公衆衛生看護学実習を履修できません。</p>

講義名	公衆衛生看護管理論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（ケアの質向上のための看護学）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	看護師：選択/保健師：必修		
配当年次	4年前期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻井 蘭子	看護学科教員

担当教員	櫻井 蘭子
科目の目標	成人・老年・小児・母性・精神・在宅看護学の知識を統合して、地域の健康課題に応じて保健事業を予算化・事業化・施策化するしくみ、公衆衛生看護における情報管理、ケアの質保証、継続的学習の必要を踏まえた人材育成、地域の健康課題の解決に必要な社会資源や制度の開発と評価について学ぶ。また、予防的視点を含む災害等の地域における健康危機管理、地域ケアシステムにおける医療管理や介護保険制度における保健師の管理的役割について学ぶ。
学習の具体的な目標	<p>授業形態：講義</p> <p>1) 地域の健康課題に基づいた保健事業計画の策定と施策化・予算化、事業計画の見直しについて説明できる。</p> <p>2) 自治体の保健福祉計画の策定と予算のしくみが説明できる。</p> <p>3) 公衆衛生看護管理のしくみと情報管理、地域のケアの質保証、組織運営管理、事業業務管理、予算管理、人材育成、地域ケアシステムにおける医療や社会資源の管理と保健師の役割について説明できる。</p> <p>4) 災害時等における健康危機管理と予防について説明できる。</p>

授業計画表

1	年月日(曜日)	令和 8年04月10日(金)	時限	2限
	講義室	C409		
	担当者	櫻井		
	テーマ	地域の健康ニーズと保健事業計画(1)		
	授業内容	<p>1. 公衆衛生看護管理の目的と特徴を説明できる。</p> <p>2. 広域行政制度と地方自治について説明できる。</p> <p>3. 保健所・保健センターの機能と役割、保健所と保健センターの違いを説明できる。(課題1) (予習時間30分、復習時間30分)</p>		
2	年月日(曜日)	令和 8年04月10日(金)	時限	3限
	講義室	C409		
	担当者	櫻井		
	テーマ	地域の健康ニーズと保健事業計画(2)		
	授業内容			

1. 政策・施策・事業について説明できる。
 2. 総合計画・基本計画・実施計画について説明できる。
 3. 政策形成過程（施策・事業）のプロセスを説明できる。
 4. 住民の健康を維持・向上にむけた活動と政策および政策に基づく計画のかかわりを考察することができる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日(曜日)	令和 8年04月17日(金)	時限	3限
	講義室	C305		
	担当者	櫻井		
	テーマ	保健福祉計画と予算		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業の種類とその特性を説明できる。 2. 事業の実施にむけた課題の構造化のプロセスを説明できる。 3. 事業計画と評価計画について説明できる。 4. 事業を実現するために必要な予算の確保について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 8年04月24日(金)	時限	2限
	講義室	C409		
	担当者	櫻井		
	テーマ	情報管理と地域ケアの質保証		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例管理、ケースマネジメントについて説明できる。 2. 情報管理の方法、情報開示、情報ネットワークの構築について説明できる。 3. 保健師の職業倫理と個人情報の保護について説明できる。 4. 地域ケアの質を保証する方法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 8年04月30日(木)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	櫻井		
	テーマ	組織運営管理と事業業務管理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織理念・目標の共有、組織の意思決定について説明できる。 2. 事業・業務が、必要量と稼働量に基づいて計画されることを説明できる。 3. 事業・業務が活動計画・事業計画にそって運営されていることを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 8年05月01日(金)	時限	2限
	講義室	C409		
	担当者	櫻井		
	テーマ	人事管理と人材育成		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人事管理の要点を説明できる。 2. 人材育成方針の策定と現任教育・研修計画について説明できる。 3. 継続教育の必要性と目的を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 8年05月01日(金)	時限	3限
	講義室	C409		
	担当者	櫻井		
	テーマ	地域ケアシステムにおける医療や社会資源の管理		
	授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ケアシステムとその発展過程を説明できる。 2. 地域の健康課題の解決に必要な社会資源や制度の開発について説明できる。 3. 地域における医療管理と介護保険制度における保健師の管理的役割を説明できる。 4. 地域ケアシステムにおける評価について説明できる。特に、研究的評価の方法と研究成果の活用必要性を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 8年05月08日(金)	時限	2限
	講義室	C409		
	担当者	櫻井		
	テーマ	健康危機管理と予防的活動		
	授業内容			

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康危機管理の定義と目的を説明できる。 2. リスクマネジメントにおける分析・対応・評価について説明できる。 3. 災害に備えるための体制・予防的活動、および災害発生時の組織編成、保健師の管理機能を説明できる。 4. 感染症、食中毒、化学物質・放射性物質等の健康危機に対する予防的活動を説明できる。 5. 保健事業の事業実施計画を作成できる。(課題2) (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価の割合は、課題90%、授業参加態度10%とする。 2. 課題は提出期限厳守とする。 3. 課題の内容が合格水準60%を超えない場合は、1回のみ課題の再提出ができる。 4. 授業時間数2/3以上の出席を必須(学生便覧参照)とする。 5. 授業開始後の出席確認を超えての入室は遅刻、授業開始45分以降の入室は欠席とする。 *詳細は、授業の際に説明する。
教科書	保健学講座2 公衆衛生看護活動支援技術, メジカルフレンド社. ※最新版とする。
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論, 医学書院 2. 保健師業務要覧, 日本看護協会監修, 日本看護協会出版会 3. 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会編, 厚生労働統計協会 ※最新版とする。
連絡先/オフィスアワー	授業等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 ※基本的にメールで事前のアポイントメントをとること。 平日12:10~12:30 E-mail: m_sakurai@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	各授業回のテーマ、内容を確認し、教科書の該当ページを予習する。授業後には学習内容を復習し理解度を確認する。授業内容や関連領域に興味関心を持ち、図書館等で調べ、学習内容の理解を深める。 本科目は4年次開講の公衆衛生看護学実習の履修要件となる。単位が取得できない場合は公衆衛生看護学実習を履修することはできない。

講義名	成人看護学実習Ⅲ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 櫻庭 奈美	看護学科教員

担当教員	櫻庭 奈美・本谷久美子・青木 君恵・工藤 岳夫
科目の目標	慢性疾患及び慢性的な健康課題を有する人やその家族が抱えている問題、それを支援する外来での看護を理解する。またその人にふさわしい生活を支援するための保健・医療・福祉体制の実際を学び、外来における看護職の役割を考察する。
学習の具体的な目標	医療機関の外来を受療する人々を総合的に理解し、必要となる看護援助を実践できるための基礎的な能力を養う。 1. 外来診療を受ける対象を理解できる。 2. 外来診療を受ける対象を通して、外来の機能、外来看護の特徴や専門性を理解できる。 3. 外来診療を受ける対象への関わりを通して、状況に応じた看護を実践できる。 4. 看護学生として適切な行動がとれる。
授業計画表	
2025年5月～7月の領域別看護学実習期間のうち1週間 実習場所：埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター	
評価方法	実習目標の到達度、実習記録、実習状況などにより総合的に評価する。
教科書	成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ、成人看護学方法論Ⅱ、成人看護学方法論Ⅲで使用した教科書、参考書、ノート等
参考書	実習内容に関する関連教科書、文献
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【櫻庭】 ・実習期間内：実習に対する質問は事前にメールにてアポイントをとること。 メールアドレス：sakuraba@saitama-med.ac.jp ・実習期間外：月曜日 13時～14時
履修上の注意、履修要件	実習記録は実習担当の教員の指示に従って期限内に提出すること。 (予習時間1時間、復習時間1時間)

講義名	在宅看護学実習		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 千田 みゆき	看護学科教員

担当教員	千田みゆき・西岡ひとみ・櫻井 繭子・野田 万里・内田 久子・川端 泰子
科目の目標	訪問看護ステーションにおける看護活動に参加することを通して、地域で生活をしながら療養する人々を総合的に理解し、担当した在宅療養者とその家族の病状・生活に応じた個別的な看護過程を、情報収集から評価まで体験的に学習する。また、在宅看護の特徴、地域ケアシステムにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護師の役割を実践的に学ぶ。
学習の具体的な目標	<p>授業形態：実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 在宅療養者及び家族への看護過程の一連のプロセスを学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 在宅療養者及び家族の療養生活上のニーズを把握し、個別の看護計画を立案することができる。 個別の生活の場に即した方法で、必要な看護を実践することができる。 在宅療養者とその家族の反応などから、行った看護の評価を行うことができる。 在宅で行う看護と施設内で行う看護の特徴を考えることができる。 在宅療養者を支援する在宅ケアサービス、関係する機関・職種について理解を深め、連携のあり方を考えることができる。 在宅ケアシステムの一環としての訪問看護ステーションの機能と、訪問看護師の役割を学ぶ。
授業計画表	詳細は別途配布する「実習要項」による。
評価方法	出席状況、実習内容、実習目的・目標の到達状況、実習態度、実習記録を総合的に評価する。
教科書	1. ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術、臺有桂他編、メディカ出版。
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 在宅看護学で使用した教科書、講義・演習の配布資料 看護技術実習ガイド 在宅看護技術-その手順と教育支援-、岡崎美智子他編、メディカルフレンド社 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア、臺有桂他編、メディカ出版
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【千田】 平日12：10～12：30 上記時間帯に訪問できない場合はアポイントメントをとること。 Email：chida@saitama-med.ac.jp</p> <p>他の教員の連絡先は、実習時に配布する資料による。</p>
履修上の注意、履修要件	実習前には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。特に、訪問看護ステーションの機能、介護保険と医療保険、受け持ち利用者の疾患・ケアについては予習をしておくこと。

と。
履修要件：在宅看護学概論、在宅看護学活動論Ⅰ・Ⅱの単位を修得していること。
(予習時間30分、復習時間30分)

講義名	実践応用の看護学実習		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	2	時間	90.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/90時間		
必修・選択	必修		
配当年次	4年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 千田 みゆき	看護学科教員

担当教員	千田みゆき・横山ひろみ・関根由紀子・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・中島久美子・高取純次郎・本谷久美子・櫻庭 奈美・青木 君恵・工藤 岳夫・穴戸 裕子・丸井 明美・鳥谷めぐみ・（高橋）・土師しのぶ・川合 美奈・齋藤美奈子・大森 智美・藤村 博恵・松坂 充子・大賀 淳子・大澤 優子・大木田亜衣・山路真佐子・西岡ひとみ・櫻井 繭子・村田 美穂・野田 万里・内田 久子・川端 泰子
科目の目標	本学は、看護実践能力の研鑽に努め、質の高い看護実践のできる看護職者の育成と、地域社会に貢献できる能力の育成を教育理念としている。実践応用の看護学実習の目的は、卒後、この理念を達成し得る学生を育成するために、看護実践能力に焦点をあて、卒後の臨床現場で求められる実践力の必要性について体験的に学習し、かつ、領域別看護学実習の学びを統合することである。
学習の具体的な目標	授業形態：実習 1) 複数患者を受け持ち、より実践的な看護を学ぶ。 2) 看護チームにおけるリーダーシップ・メンバーシップを学ぶ。 3) 看護管理の実際を学ぶ。 4) チーム医療としての多職種連携や看護のあり方を統合的に学ぶ。 5) 専門職としての基本的態度を学ぶ。
授業計画表	
詳細は別途配布する「実習要項」による。	
評価方法	出席状況、実習内容、実習目的・目標の到達状況、実習態度、実習記録を総合的に評価する。
教科書	講義・演習で使用した教科書・参考書など。担当指導教員より、適宜指示する。
参考書	1. 系統看護学講座 看護管理、上泉和子他、医学書院 2. 新体系看護学全書 看護実践マネジメント 医療安全、佐藤エキ子編、メヂカルフレンド社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【千田】 平日12：10～12：30 上記時間帯に訪問ができない場合はアポイントメントをとること。 Email：chida@saitama-med.ac.jp 他の教員については、担当指導教員より連絡する。
履修上の注意、履修要件	実習前には教科書の該当ページを予習し、毎日の実習後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 この実習を既習の看護の知識と技術、看護職者としての基本的態度を統合する実習として位置づけ、自らの

看護実践能力を高めるよう主体的に学ぶこと。

○履修要件

1. 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、成人看護学Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ、家族看護学、災害看護学の単位を修得していること。

2. 成人看護学実習Ⅲ、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習、看護のマネジメント、国際看護論の授業を履修し、単位認定資格を有すること。

(予習時間30分、復習時間30分)

講義名	公衆衛生看護学実習		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	通年	講義区分	実習
基準単位数	5	時間	225.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	5単位/225時間		
必修・選択	必修（保健師過程選択者のみ）		
配当年次	4年通年		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/保健師	◎ 山路 真佐子	看護学科教員

担当教員	山路真佐子・千田みゆき・櫻井 繭子・村田 美穂・野田 万里・内田 久子・川端 泰子
科目の目標	保健所・市町村保健センターの機能と保健師の役割を理解し、地域診断からそれに基づいた個人・家族・地域(集団・組織)に対する支援活動、活動評価に至る過程を体験的に学ぶとともに、保健福祉計画と各種保健活動の関連、各保健事業間の関連、教育及び産業分野の地域保健関連機関との連携・調整の重要性、健康危機管理を含む公衆衛生看護管理の実際を学修する。また、教育及び産業分野においては、養護教諭および産業看護職の役割と保健活動の方法について学ぶ。
学習の具体的な目標	<p>授業形態：実習</p> <p>1) 地域の健康状態をアセスメントし、地域で生活する人々の健康ニーズ、健康課題を明らかにすることができる（地域診断）。</p> <p>2) 地域診断に基づいて、健康教育、家庭訪問について計画し、一部を実施し評価することができる。</p> <p>3) 個人・家族・地域(集団・組織)に対する各種保健活動の方法、保健福祉計画との関連、各保健事業間の関連について説明できる。</p> <p>4) 地域ケアシステムにおける保健、医療、福祉、教育、産業分野の連携・調整の重要性、健康危機管理を含む公衆衛生看護管理について説明できる。</p> <p>5) 各種地域保健機関の機能と行政保健師、養護教諭、産業看護職の役割を説明できる。</p>
授業計画表	詳細は別途配布する「実習要項」による。
評価方法	出席状況、実習内容、実習目的・目標の到達状況、実習態度、実習記録を総合的に評価する。
教科書	国民衛生の動向、厚生労働統計協会編、厚生労働統計協会
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護学関連科目で使用した教科書、講義・演習の配布資料 2. 保健学講座5 保健医療福祉行政論、野村陽子他編、メヂカルフレンド社 3. 新版保健師業務要覧第4版2025年版、井伊久美子他編、日本看護協会出版会。
連絡先/オフィスアワー	<p>授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。</p> <p>【山路】</p> <p>月・火曜日16時30分～17時30分</p> <p>上記以外はメールにてアポイントメントをとること。</p> <p>Email : yamaji@saitama-med.ac.jp</p>
履修上の注意、履修要件	<p>実習前には教科書の該当ページを予習し、実習終了後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。</p> <p>○履修要件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活と健康、社会福祉論、看護政策論、保健医療行政論Ⅰ・Ⅱ、保健統計学、医療情報学、疫学、公衆衛

生看護学概論、家族看護学、公衆衛生看護学対象別活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ・Ⅱ、健康教育論Ⅰ・Ⅱ、地域診断論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生看護管理論の単位を修得していること
2. 老年看護学実習Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習を履修し単位認定資格を有すること
(予習時間30分、復習時間30分)

科目区分

生活している人間の理解

看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得

看護の対象としての人間の理解

看護学実習

保 保健師課程のみ 必修科目

1年次

2年次

3年次

4年次

ディプロマ・ポリシー

看護学科

保健医療学部

哲学 文学 法学 心理学 発達心理学 社会学 教育学 人間の科学 人間工学 情報リテラシー 英語 I・II

英語 III 日本国憲法 文化人類学 カウンセリング学 ジェンダー学 体育実技

病むことの心理 / 看護倫理

生殖医療と看護 家族看護学 災害看護学

保健医療行政論 I 保健医療行政論 II 放射線医学概論 疾病の成り立ち I・II・III 医療情報学 社会福祉論 疫学

基礎看護学実習 II / 老年看護学実習 I

保健統計学 母子看護方法論 看護研究概論 臨床看護学概論 活動論(方法論) (成人・老年・精神・小児・母性) 看護過程論 フィジカルアセスメント

領域別看護学実習(成人・老年・小児・母性・精神・在宅)

実践応用の看護学実習

パリアティブケア論 救急看護論 国際看護論

看護学概論 II

看護研究セミナー / 看護総合セミナー

看護関係法規 人体の構造と機能 I・II・III 病原微生物学 薬理学 環境論 公衆衛生学 免疫学 食物・栄養学 I・II 生活と健康

基礎看護学実習 I

看護方法演習 I 看護学概論 I 看護技術論 基礎看護技術 I 基礎看護技術 II 基礎看護技術 III

看護学生のためのリテラシー

基礎看護技術 IV 基礎看護技術 V 看護方法演習 II

感染看護学

公衆衛生看護学概論

在宅看護学概論

リハビリテーション看護論

看護管理学

在宅看護学活動論 I

医療の基本 II

在宅看護学活動論 II

公衆衛生看護学対象別活動論 I・II・III

公衆衛生看護学活動展開論 I・II

健康教育論 I・II

地域診断論 I・II 公衆衛生看護学管理論

公衆衛生看護学実習

看護政策論 / 医療経済学

産学校看護論

幅広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につける。
医療における看護の倫理的側面を理解し行動できる。
全人的医療、患者さん中心の医療を原点に、病める人の視点で考え、人を思いやる態度をもち、個性を重視した看護を行うことができる。

人間の生命に対する深い愛情と畏敬の念を基盤として、高い倫理観と豊かな人間性を涵養すること。

医療人に必要とされる基礎医学および臨床医学の基本的知識を身につける。
多様な保健・医療・福祉の場で活用できる基本的な看護の知識と技術を身につける。

保健医療に関する国際水準の知識と技術の修得を基本とし、未知の課題を自ら解決する意欲と探求心をもつとともに、自らの能力の限界を知り、生涯にわたり自己の資質の向上に努めること。

看護の専門的知識を活用し、科学的根拠に基づいて、身体的、心理的、社会的側面から適切な判断を行うことができる。
看護の実践の中から看護研究の課題を発見し、それを発展させることができる。
常に自らの能力を点検・評価し、生涯学びつづける姿勢を身につける。

チーム医療の中で調整・連携の役割を果たすための適切なコミュニケーション能力を身につける。

協調性に富んだ社会人として様々な職種の人々と協力し、医療の安全につねに留意するとともに、社会的視点に立って地域の保健医療に積極的に関わることができること。

医療安全管理の重要性を理解し、状況に応じた適切な行動をとることができる。

保健・医療・福祉チームの一員として地域医療に積極的に関わることができる。